

平成21年度第2回SPODネットワークコア運営協議会概要

日 時：平成21年5月27日（水）14：30～17：30

場 所：愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ3階会議室

出席者：徳島大学 曾田教授、宮田准教授、田中特任助教、吉田特任助教、森川学務課事務補佐員

香川大学 葛城准教授、森田給与福利グループリーダー、高嶋学務グループチーフ

高知大学 塩崎教授、俣野講師、大槻学務課教務補佐員、小島人事課課長補佐、

末本学務課専門職員、西村学務課事務補佐員

愛媛大学 小林教授（教育企画室長）、佐藤准教授、城間助教、大竹特定研究員、

久保特定研究員、秦准教授、米澤人事課長、大谷人事課副課長、

米田人事課人事政策チームリーダー、塩出人事課人材開発・サービスチームリーダー、

上田人事課事務補佐員、河野教育企画課教育企画チームリーダー、

石川教育学生支援部員、大野教育企画課事務補佐員

陪席者：愛媛大学 山内教育企画室特定研究員

議題等：

議事に先立ち、5月から本事業で採用された高知大学大槻学務課教務補佐員の自己紹介を行った。

（1）SPOD事業評価について

はじめに、徳島大学曾田教授からSPOD事業評価委員会委員の1人としてのコメントをいただいた。

- ・FD・SDが同時に進んでいるのが長所である一方、お互いの関連性をどのように持たせていくかを考えたり、同時に進めることの趣旨が見える化したりする必要がある。
- ・既にFDプログラムを持っているのが強みである一方、そのプログラムが小規模校のニーズにも合っているかを検証する必要がある。
- ・大学の執行部との意見交換が必要である。

愛媛大学小林室長から資料1①～④に基づき説明があった。また、愛媛大学佐藤准教授、秦准教授及び米澤人事課長から以下の補足説明があった。

- ・ティーチング・ポートフォリオについては、愛媛大学で今年度メンター養成のワークショップを行い、試行的に進めようとしている学部と協力して開発していく。
- ・スタッフ・ポートフォリオについては、愛媛大学で秦准教授と人事課が試行的に作成を進めており、今後も愛媛大学で導入に向けての検討をしていく。

また、その他、徳島大学曾田教授から、これまで以上に教員と職員の相互の意思疎通が必要との意見があり、このための方策等については引き続き議論していくこととなった。また、今後はFD／SDの各取組の進捗状況や事例をコア協議会など教員、職員が揃った場で積極的に報告を行っていくこととなった。

このほか、各県のコア校が各県内会議等において、FD／SDに係る加盟校のニーズを調査していくこととなった。

（2）SPODフォーラムについて

愛媛大学小林室長から資料2①に基づき説明があった。愛媛大学佐藤准教授からは、フォーラムには、職員にも積極的に参加してもらいたいとの依頼があった。

愛媛大学佐藤准教授から資料2②に基づき説明があり、学生団体への窓口役となる教員について確認があった。香川大学は西本先生、徳島大学は香川先生、高知大学は塩崎先生が各コア校が窓口となる旨の報告があった。なお、学生の旅費については、補助金からは直接支出できないため、各大学負担とするか、又はバスや宿所の借上げ等の形で補助金を利用することが確認された。

また、愛媛大学小林教授から資料2③について説明があり、各プログラムの担当者はその概要について6月10日（水）までに提出してもらうこととした（様式は別途愛媛大学教育企画課から送付）。

(3) F Dマップについて

愛媛大学佐藤准教授から、資料3（別冊）の内容及び使い方等について説明があった。

(4) S P O Dホームページの運用について

愛媛大学河野教育企画チームリーダーから、資料4に基づき説明あった。会議案内や配付資料については、担当者が確実に掲載を行っていくこと、また、検索等で利用しやすいよう、タイトルの付し方を統一的に工夫することが確認された。このほか、ホームページの利用拡大のため、各大学サイトのトップページからリンクを貼ること、担当者のメールの署名を工夫することなどについて依頼があった。

(5) S P O D研修講師について

愛媛大学河野教育企画チームリーダーから、資料5①～④に基づき説明があった。

- ・資料5①について、一部誤字を訂正の上、案のとおり了承された。
- ・資料5②について、愛媛大学小林室長から説明があり、研修講師一覧については、愛媛大学が先行して掲載することとなった。また、各コア校においては、一覧への掲載対象者について、特にSDについて検討いただくよう依頼があった。
このほか、この一覧は、原則としてS P O D加盟校向けの講師一覧であることが確認された。
- ・資料5③については、この様式の使用を希望する大学等があれば、愛媛大学教育企画課まで連絡することとなった。
- ・資料5④については、他大学等へF D／SD講師を派遣した場合には、その概要について記録し、S P O Dの実績として蓄積し、毎年3月頃愛媛大学でとりまとめを行うこととなった。

(6) S P O D事業補助金連携校への旅費支出の考え方（案）

愛媛大学河野教育企画チームリーダーから、資料6に基づき説明があった。「○連携校の所在する県のコア校が負担」の文頭に「参加を希望する」と付け加えた上で、各補助金連携校あて周知することとなった。

(7) 研修プログラムガイド2009について

愛媛大学久保特定研究員から、資料7（別冊）に基づき、作成への協力のお礼及び使用方法についての説明があった。また、次年度版の作成に向けたアイデア及び表紙写真等があれば、愛媛大学まで提案をいただくこととなった。

(8) 第2回S P O D－SDプログラム開発セミナー実施要項について

愛媛大学秦准教授から、資料8に基づき説明があった。5月29日（金）～30日（土）に「学生支援（含む危機管理）、学務系を養成するためのプログラム開発」を香川県内で開催し、合計47名が参加することとなった旨の報告があった。

(9) S P O D－SDプログラム開発の中間報告について

愛媛大学秦准教授から、資料9①～⑤に基づき説明があった。資料9①については、愛媛大学の作成事例を、資料8で説明したセミナーにおいて各担当者に示すとの報告があった。また、マップ作成に当たっては、大学行政管理学会から共同実施の申し入れがあったとの報告があり、作成中に適宜助言や協力をいただくことについて了承された。なお、マップについては、S P O D加盟校の担当者やコア協議会の意見を踏まえた上で、最終的にS P O Dフォーラムで完成版を示したい旨の報告があった。

最後に、高知大学塩崎教授から6月12日（金）にS P O D-SD「次世代リーダー養成プログラム」開発の一環として行う「若手職員研修＜コミュニケーション力・企画立案力 編＞」について紹介があった。

（以 上）